

米子市文化財保護審議会（令和4年度 第1回）

日 時 令和4年8月5日（金）13:00～
ところ 市役所第2庁舎 2階 第2会議室

日 程

- 1 開 会
- 2 挨 拶（文化振興課長）
- 3 議 事
 - (1) 米子市指定文化財（有形文化財・史跡）の新規指定について
- 4 報 告
 - (1) 文化財保存活用地域計画について（中間報告）
 - (2) 令和4年度（上半期）文化財保護事業実施状況について
 - (3) 令和4年度（下半期）文化財保護事業実施計画について
- 5 その他
- 6 閉 会

米子市文化財保護審議会委員

令和3年4月1日現在 (50音順) 任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日

No.	氏名	ふりがな	専門分野	所属、役職等
1	浅井 秀子	あさい ひでこ	建造物	鳥取大学工学部准教授
2	金澤 雄記	かなざわ ゆうき	建築史	広島工業大学准教授
3	神谷 要	かみや かなめ	天然記念物(動物)	米子水鳥公園館長
4	喜多村 理子	きたむら まさこ	風俗慣習、民俗技術	学識経験者
5	鷺見 寛幸	すみ ひろゆき	名勝、天然記念物 (植物)	大山町教育委員会教育長
6	田中 秀明	たなか ひであき	史跡、考古資料、 古代史	学識経験者
7	常松 喜恵子	つねまつ きえこ	音楽、民俗芸能	声楽家
8	丸山 柚美	まるやま ゆみ	美術工芸品、工芸技術	工芸作家
9	山道 俊哉	やまみち としや	古文書、近世史	米子工業高等学校
10	山本 恭子	やまもと きょうこ	文化人類学	米子市立山陰歴史館副館長

米子市文化財保護審議会条例

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、米子市文化財保護審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 審議会は、米子市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、本市の文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して教育委員会に建議する。

(組織)

第3条 審議会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 審議会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、その議長となる。

2 前項の規定にかかわらず、委員の委嘱後初めての会議は、教育委員会が招集する。

3 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

5 前項の場合において、議長は、委員として議決に加わることができない。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附 則

この条例は、平成17年3月31日から施行する。

米子市内指定文化財等一覧

(R3・12・1現在)

1 国指定文化財 (11件)

No.	種類	名称	指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	重要文化財	短刀銘備州長船住兼光附金熨斗付合口拵	工芸品	T1.9.3	大神山神社	尾高1025
2	史跡	向山古墳群	古墳	S7.7.23 H11.7.13(追加指定・名称変更)	米子市	淀江町福岡621ほか
3	重要文化財	石馬	考古資料	S34.12.18	天神垣神社	淀江町福岡(天神垣神社)
4	史跡	福市遺跡	集落跡・古墳	S45.10.17	米子市	福市457-1ほか
5	重要文化財	後藤家住宅 主屋・一番蔵・二番蔵	建造物	S49.2.5 H5.8.17 H8.7.9	個人	内町
6	史跡	青木遺跡	集落跡・古墳	S53.3.22	米子市	永江250ほか
7	史跡	鳥取藩台場跡(由良台場跡 境台場跡 淀江台場跡 橋津台場跡 浦富台場跡 赤崎台場跡)	政治に関する遺跡	S63.7.27 H10.12.8 H28.3.1	米子市	淀江町今津267-1ほか
8	史跡	上淀麁寺跡	社寺跡	H8.3.29 H17.7.14	米子市、個人	淀江町福岡
9	史跡	妻木晩田遺跡	集落跡	H11.12.8 H20.3.28	鳥取県・米子市ほか	米子市淀江町 大山町妻木
10	名勝	深田氏庭園	庭園	H12.12.20	個人	車尾
11	史跡	米子城跡	城跡	H18.1.26 R3.3.26	米子市	久米町261ほか

2 県指定文化財 (19件)

No.	種類	名称	指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地
1	保護文化財	木造十一面観音坐像	彫刻	S28.8.8	戸上・観音寺総合区	観音寺
2	保護文化財	鉄茶釜	工芸品	S32.2.6	米子市	米子市中町12番地(米子美術館)
3	保護文化財	高田家住宅附家相図一枚	建造物	S49.3.29 R2.5.22	個人	福万
4	無形民俗文化財	米子盆踊り	民俗芸能	S49.10.18	米子盆踊保存会	富士見町
5	無形文化財	弓浜緋	工芸技術	S53.12.12	弓浜緋保存会	米子市・境港市
6	天然記念物	粟嶋神社社叢	植物	S57.4.9	粟嶋神社	彦名町1404
7	保護文化財	刀無銘伝古伯耆物 附銀造糸巻太刀拵	工芸品	S62.12.25	大神山神社	尾高
8	保護文化財	絵画土器(角田遺跡出土)	考古資料	H16.2.3	米子市	淀江町福岡971-1(上淀白鳳の丘展示館)
9	名勝	心光寺庭園	庭園	H17.11.29	心光寺	寺町39
10	保護文化財	上淀麁寺跡出土壁画・塑像 附瓦・土器類	考古資料	H21.9.29	米子市	淀江町福岡971-1(上淀白鳳の丘展示館)
11	保護文化財	井手挾3号墳出土埴輪一括	考古資料	H22.9.17	米子市	淀江町福岡971-1(上淀白鳳の丘展示館)
12	保護文化財	旧日ノ丸自動車法勝寺鉄道車両 附関連資料一括	歴史資料	H23.3.22	米子市・南部町	道笑町1丁目パティオ広場ほか
13	保護文化財	相見家文書	古文書	H24.2.24	個人	県博に寄託
14	保護文化財	龍虎図屏風	絵画	H25.3.8	個人	米子市
15	保護文化財	瑞仙寺文書	古文書	H27.9.11	瑞仙寺	日下584
16	無形文化財	革工芸(保持者・本池秀夫)	工芸技術	H28.4.26	本池秀夫	大篠津町

17	無形民俗文化財	弓浜半島及び近隣地域のトンド	風俗慣習	H30.4.27	地元自治会等	兼久、東八幡、青木、西福原
18	保護文化財	神像 附神像3軀	彫刻	R3.11.19	八幡神社	東八幡276(八幡神社)
19	保護文化財	山陰歴史館所蔵長田文書	古文書	R3.11.19	米子市	中町20(山陰歴史館)

3 市指定文化財 (33件)

No.	種類	指定基準・内容	指定年月日	所有者等	所在地	
1	有形文化財	旧小原家長屋門	建造物	S52.4.1	米子市	久米町209
2	有形文化財	米子市役所旧館	建造物	S52.4.1	米子市	中町20
3	有形文化財	朝比奈三郎、曾我五郎の草摺りを曳く図	絵画	S52.4.1	貴布禰神社	車尾550
4	史跡	尾高城跡	城跡	S52.4.1	米子市・鳥取県	尾高1268ほか
5	史跡	目久美遺跡	集落跡	S52.4.1	米子市	目久美町
6	史跡	清洞寺跡	社寺跡	S52.4.1	米子市	西町68地先
7	名勝	粟嶋	島嶼	S52.4.1	粟嶋神社	彦名町1404
8	史跡	中村一忠墓地 附中村一忠主従木像三体	墳墓	S53.4.1	感応寺	祇園町1丁目87
9	天然記念物	潮止め松	植物	S52.4.1	鳥取大学	西町68-8ほか
10	天然記念物	和田御崎神社元宮社叢	植物	S53.4.1	和田御崎神社	大篠津町2150
11	有形文化財	松南農兵隊関係遺品	歴史資料	S53.11.10	日吉神社・個人	淀江町西原
12	有形民俗文化財	石像、亀甲神社の道祖神神体	信仰	S53.11.10	亀甲神社	淀江町中間亀甲631
13	無形文化財	淀江傘製造技術	工芸技術	S53.11.10	淀江傘伝承の会	淀江町796
14	無形民俗文化財	淀江さんこ節	民俗芸能	S53.11.10	淀江さんこ節保存会	淀江町
15	無形民俗文化財	日吉神社神幸神事	風俗慣習	S53.11.10	日吉神社神幸神事保存会	淀江町西原
16	有形文化財	横田内膳墓碑および遺品	墳墓	S55.4.1	妙興寺	寺町46
17	有形文化財	大谷家資料	工芸品・古文書	S63.7.8	米子市	中町20(山陰歴史館)
18	有形文化財	太刀 銘安綱	工芸品	H3.10.29	大神山神社	尾高1025
19	有形文化財	安養寺資料	古文書	H2.5.10	安養寺	福市724
20	史跡	荒尾家墓所 附荒尾家位牌	墳墓	H2.5.10	個人、了春寺	博労町2丁目
21	有形民俗文化財	芋代官碑	信仰	H2.5.10	迎接院	夜見町2606
					富益神社	富益町1912
					雲泉寺護持会	和田町2571
					任宗寺壇中	葭津1469
22	無形民俗文化財	上淀の八朔行事	風俗慣習	H15.4.1	上淀自治会	淀江町福岡
23	有形文化財	米子城鯨	歴史資料	H17.2.6	米子市ほか	中町、立町
24	史跡	陰田1号墳	古墳	H22.6.28	個人	陰田町
25	史跡	石州府1号墳	古墳	H25.4.10	米子市	石州府660ほか
26	有形文化財	水管橋	歴史資料	H28.1.29	米子市水道局	糺町
					米子市水道局	西倉吉町

	有形文化財	木造神像	彫刻	2021/11/19県指定	八幡神社	東八幡
27	有形文化財	木造狛犬	彫刻	H28.1.29	八幡神社	東八幡
28	天然記念物	青木神社社叢	植物	H28.1.29	青木神社	青木
29	有形文化財	貴布禰神社 石造唐獅子	彫刻	R2.10.23	貴布禰神社	車尾5-7-41
30	有形文化財	桃形兜	工芸品	R2.10.23	米子市	中町20(米子市立山陰歴史館)
31	有形文化財	長砂経塚出土品	考古資料	R3.12.1	米子市	福市281(米子市埋蔵文化財センター)
32	有形文化財	中山経塚出土品	考古資料	R3.12.1	米子市	福市282(米子市埋蔵文化財センター)
33	有形文化財	石馬顕彰碑	歴史資料	R3.12.1	天神垣神社	淀江町福岡1015番1

4 登録有形文化財 (17件)

No.	種類	名称	登録基準	登録年月日	所有者等	所在地
1	登録有形文化財	米子専門大店	造形の規範	H13.8.28	個人	道笑町
2	登録有形文化財	旧米子市水源地旧ポンプ室	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
3	登録有形文化財	旧米子市水源地記念碑	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
4	登録有形文化財	旧米子市水源地水神社	歴史的景観	H13.8.28	米子市	車尾南2-8-1
5	登録有形文化財	旧日野橋	歴史的景観	H15.3.18	米子市	車尾・吉岡
6	登録有形文化財	坂口家住宅主屋	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
7	登録有形文化財	坂口家住宅離れ及び渡り廊下	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
8	登録有形文化財	坂口家住宅土間倉	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
9	登録有形文化財	坂口家住宅土蔵	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
10	登録有形文化財	坂口家住宅門及び塀	歴史的景観	H21.5.14	個人	尾高町
11	登録有形文化財	石賀本店土蔵	歴史的景観	H21.5.14	個人	法勝寺町
12	登録有形文化財	東光園	造形の規範	H29.10.27	ベネフィットホテル株式会社	皆生温泉3-2155ほか
13	登録有形文化財	旧外江屋店舗(米子まちなか観光案内所)	歴史的景観	R3.6.24	個人	灘町1丁目19ほか
14	登録有形文化財	判屋船越家住宅主屋	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
15	登録有形文化財	判屋船越家住宅東蔵	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
16	登録有形文化財	判屋船越家住宅西蔵	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか
17	登録有形文化財	判屋船越家住宅裏門	歴史的景観	R3.10.14	個人	天神町2丁目37ほか

5 国記録選択 (2件)

No.	種類	選択基準・内容	選択年月日	所有者等	所在地	
1	無形民俗文化財	出雲・伯耆の荒神祭	風俗慣習	H21.3.11	鳥取県・島根県	鳥取県・島根県
2	無形民俗文化財	上淀の八朔綱引き	風俗慣習	H20.3.13	淀江町福岡	淀江町福岡

6 県記録選択 (1件)

No.	種類		選択基準・内容	選択年月日	所有者等	所在地
1	無形民俗文化財	弓浜半島のトンド	風俗慣習	H23.11.25	米子市・境港市・南部町 及び伯耆町	米子市・境港市・南部町 及び伯耆町

- ・国指定文化財 11件
- ・県指定文化財 19件
- ・市指定文化財 33件(物件数 37件)
- ・国登録有形文化財 17件
- ・国選択文化財 2件

議 事

令和4年8月5日

米子市指定文化財（有形文化財・史跡）の新規指定について

【指定候補】有形文化財

歴史資料 D51形蒸気機関車（西町）

【指定候補】史跡

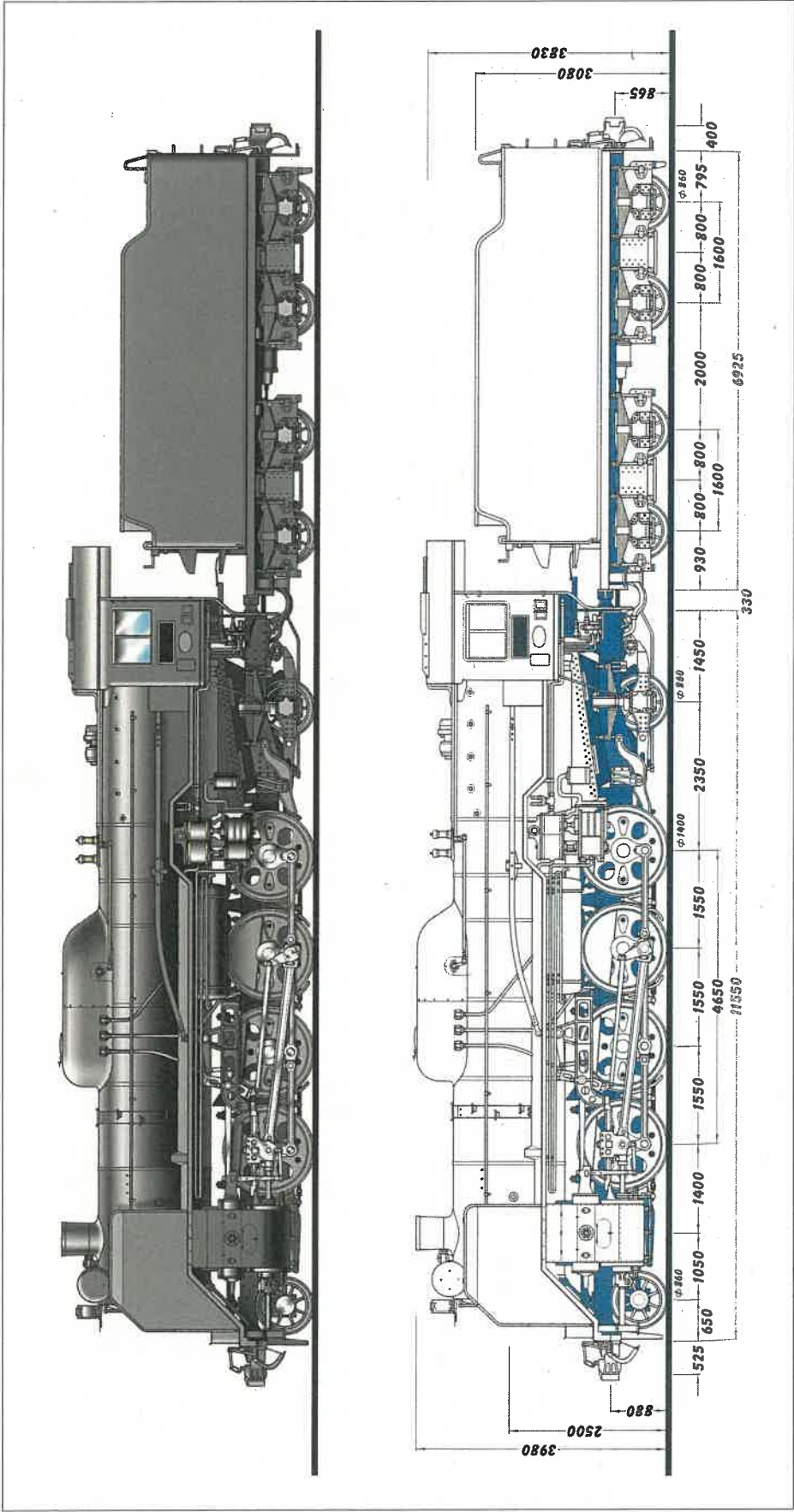
歴史資料 旧海軍美保航空隊飛行機用掩体（大篠津町）

【米子市文化財指定調書①】

1 指定種別・区分	種別：有形文化財 分類：歴史資料
2 名称	D51形蒸気機関車(でいーごじゅういちがたじょうききかんしゃ)
3 員数	1両
4 所在地	米子市西町(湊山公園)
5 指定地域	
6 所有者氏名・住所	所有者氏名：西日本旅客鉄道株式会社 住所：米子市弥生町2(米子支社)
7 指定理由(基準)	有形文化財<歴史資料の部> 三 我が市の歴史上重要な事象又は人物に関する遺品で歴史的又は検討的にまとまって伝存し、学術的価値の高いもの(※県基準準用)
8 構造・型式・内容	D51形蒸気機関車は、日本国有鉄道(国鉄)の前身である鉄道省が昭和11(1936)年に製造した単式2気筒で過熱式のテンダー式蒸気機関車。主に貨物輸送に用いられ、現場の機関士にも操作性の良さから人気があり、「デゴイチ」の愛称で親しまれた蒸気機関車の代名詞ともいえる車両であつ昭和20(1945)年までに我が国最多の1,115両が生産された。当市内で保存されている195号機は、初期形・標準形・戦時形のうち1939年度に大宮工場で製造された標準形10両(D51 195-198・243-244・469-472)の1両である。859両が生産された標準形は、給水温め器を煙突の前に置く「デゴイチ」をイメージさせるタイプである。D51形蒸気機関車は、貨物営業用としては昭和50(1975)年に引退したが、日本国内に限っても2021年現在2両(200・498号機)が本線で運行可能な状態で動態保存中であり、それ以外にも100両程度が全国各地の鉄道博物館やその他博物館、公共施設、学校、公園などで保存されている。なお、そのうち1・187・200・488・745号の5両は準鉄道記念物に指定されている。県内では鳥取砂丘こどもの国に303号機が保存されている。
9 法量(標準値)	全長 19,730 mm、全高 3,980 mm 機関車重量 78.37 t、炭水車重量 47.40 t(運転整備) 総重量 125.77 t
10 作者	大宮工場
11 時代・年代	昭和14(1939)年製作
12 沿革	D51形蒸気機関車195号機は昭和14(1939)年に大宮工場で製造され東京局配属となる。当初配置は不明だが、1948年7月現在酒田、1960年横手、東能代と東北地方で運行した後、1970年に新見、1973年2月12日米子配属で、昭和48(1973)年3月1日に廃車となって静態保存。現在は米子市に貸与されて湊山公園に屋外展示されている。
13 資料・備考	宮澤孝一1999『決定版日本の蒸気機関車』講談社 レイル・マガジン2008年9月号付録「機関車表」沖田佑作氏編 片野正巳2017『細密イラストで綴る日本蒸気機関車史』ネコ・パブリッシング

指定候補物件 1 (有形文化財・D51 形蒸気機関車)





D51形蒸気機関車・標準型詳細図
『日本蒸気機関車史』(2017ネコ・パブリッシング)

【米子市文化財指定調書②】

1 指定種別・区分	種別：史跡名勝天然記念物 分類：史跡
2 名称	旧海軍美保航空隊飛行機用掩体（きゅうかいぐんみほこうくうたいひこうきようえんたい）
3 員数	1基
4 所在地	米子市大篠津町
5 指定面積	未定（本体約300㎡）
6 所有者氏名・住所	所有者氏名：米子市 住所：米子市加茂町1丁目1番
7 指定理由（基準）	史跡名勝天然記念物＜史跡の部＞ 二 都城跡、国郡庁跡、城跡、官公庁、戦跡その他政治に関する遺跡（※県基準準用）
8 構造・型式・内容	<p>飛行機用掩体は、アジア太平洋戦争末期に敵機の爆撃などから飛行機を隠し格納する施設である。旧海軍美保航空隊に属する施設と考えられる掩体は63基あったとされるが、基地内に2基、基地外に3基の合計5基が現存している。これらは直交する滑走路の端部をつなぐように弧を描いて巡る誘導路に接して連続して設けられていた。現存するのは有蓋のRC造掩体であり、木製型枠工法によるものである。形態的には小型飛行機の主翼を格納する前部アーチと尾翼部を格納する後部アーチの大小2つの蒲鉾形アーチを合わせた形態で、前面には飛行機の形に合わせた開口部があり、後面には機体を後退で格納するために牽引する際の作業孔が設けられている。RC躯体の上部は覆土が被せられ植栽により擬装が施されていたものと思われる。開口部の形状から、単発固定中翼機の格納を想定したものと考えられる。</p> <p>本土での空襲が激化する中で全国に1000基を超える掩体がつくられたと言われるが、痕跡も含めて100基前後の現存が確認されているに過ぎない。美保航空隊の5基は、現存事例としては全国でも多いものであり、戦争の歴史を伝える近代化遺産（戦争遺産）として貴重である。</p>
9 法量	1号飛行機用掩体：開口部幅1440mm（推定） 上部突出幅337mm、高さ108cm 切込幅62mm、高さ91mm（1号掩体特有） 前部内法幅1400cm、奥行650cm 後部内法幅334cm以上、奥行495cm
10 作者	不明
11 時代・年代	1942（昭和17）年以降～1945（昭和20）年
12 沿革	旧美保海軍航空隊は、昭和18（1943）年10月に開隊した第一美保航空隊（予科練）と、翌年1月に開隊した第二美保航空隊からなる教育航空隊であり、日本海側で最初の海軍航空隊であった。終戦時の敷地面積は1,398万㎡に及ぶ広大なもので、現在の航空自衛隊美保基地・米子鬼太郎空港とその周辺に4本の滑走路と基地施設を備えていた。九三式中間練習機（赤トンボ）以外に彗星、銀河、一式陸攻等からなる実戦航空機が配備され、特別攻撃隊の編成基地ともなったという。飛行機用掩体以外に、通信器材格納庫（発電施設）、弾薬庫などが現存している。

13 資料・備考

1. 篠田健三2012「美保飛行場周辺の戦争遺跡－掩体壕を中心にして－」『伯耆文化研究』第13号 伯耆文化研究会
2. 下高瑞哉・長尾かおり・中原斉2017「旧美保海軍航空隊の飛行機用掩体について－鳥取県における戦争遺跡の一例－」『國田俊雄先生傘寿記念 考古学小論集 だんだん』國田俊雄先生傘寿記念論集刊行会

指定候補物件 2 (史跡・旧海軍美保航空隊飛行機用掩体)





- 1 通信器材格納庫
- 2 1号飛行機用掩体**
- 3 2号飛行機用掩体
- 4 3号飛行機用掩体
- 5 4号飛行機用掩体
- 6 5号飛行機用掩体
- 7 弾薬庫
- 8~10 水槽・避難壕
- 11 1号兵員壕
- 12 2号兵員壕
- ※ 5・6・11・12は基地内

旧海軍美保航空隊
関連施設位置図



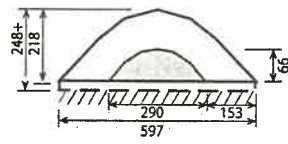
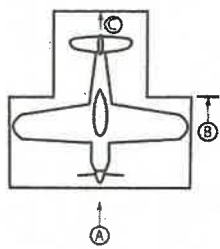
整備参考例：前浜5号掩体（高知県南国市）



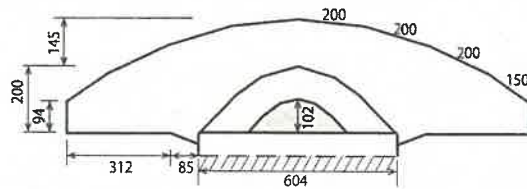
旧海軍美保航空隊配置図



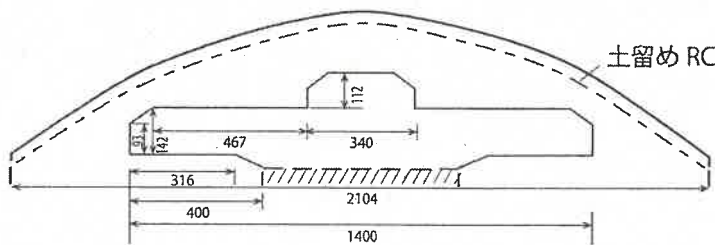
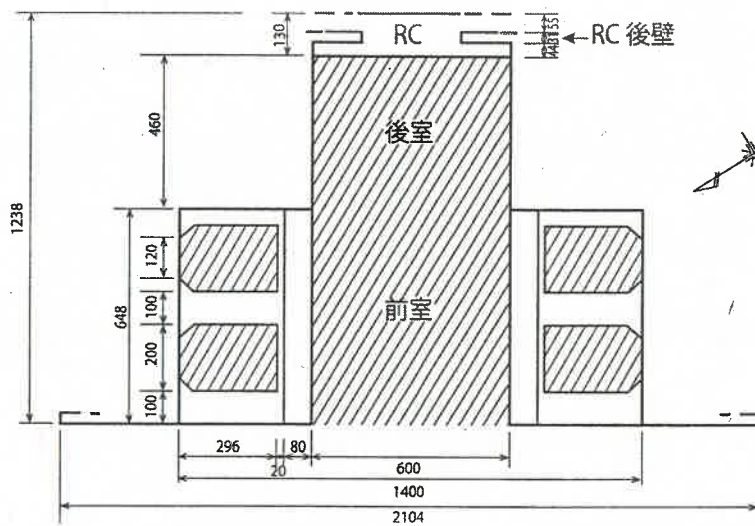
美保航空基地要図(昭和20年)防衛研究所戦史研究センター蔵



㉔後室後壁 (内)



㉕前室後壁 (内)



㉖正面前壁 (外)



【参考】2号飛行機用掩体略測図

文化財保存活用地域計画について（中間報告）

1 経緯

文化財保護法改正（平成30年）や鳥取県文化財保存活用大綱（令和2年）に基づき、市内の文化財全般の保存・活用を総合的に推進を図るため、目指す将来像や中長期的に取り組む具体的な内容を記載したアクション・プランである『文化財保存活用地域計画』の作成について、検討協議会（座長・和田嘉宥/米子工業高等専門学校名誉教授）の指導の下に計画案の検討を進めており、令和5年7月の国認定を目指している。

現在、計画の構成内容について、概ね下記のとおりとりまとめられたことを踏まえ報告する。

2 地域計画案の概要

（主要課題）市内の文化財の現状や価値、また歴史文化を取り巻く社会環境の変化や動向を踏まえ、保存と活用に関する課題を抽出し設定する。

- 市内には、まだ把握できていない数多くの魅力ある文化財が眠っている。
- 歴史、文化のストーリーに基づく文化財のネットワークが十分に意識されていない。
- 文化財が集中する区域の歴史文化の保存活用をまちづくりに活かすことが必要である。
- 文化財の防犯・防災対策の推進が必要である。
- 無形・民俗文化財の継承者や継承機会の不足を解消する取組が必要である。
- 市民、関係団体、専門家と行政が協働する仕組みづくりが必要である。

（将来像）地域コミュニティの変容など社会環境の変化を踏まえ、市内のどこからでも仰ぎ見ることができる「大山」に見守られるおかげに感謝し、交通の要衝として交流で栄えたまちであることを踏まえ、目指すべき将来像を定める。

「大山さんのおかげ」と感謝を捧げ、交流の歴史・文化が息づくまち・米子

（基本方針）市全体の文化財の保存と活用に関する課題を解決し、将来像を実現するための取組について、基本方針を定める。

- 歴史・文化を調べる・学ぶ（調査研究・情報提供）
- 歴史・文化を後世に伝える・守る（保存管理・保存管理施設・防災防犯・継承者）
- 歴史・文化の魅力を活かす・楽しむ（情報発信・公開活用）
- 歴史・文化を担う人材を育てる（担い手育成）
- 歴史・文化を支える仕組みづくり（組織体制）

（関連文化財群）歴史・文化の特徴を活かしたストーリーに基づく「関連文化財群」を市内で10件程度抽出し、まちづくりや観光などとも連携して効果的な保存・活用を進める。

- 中世の祈りと戦乱の時代の関連文化財群（尾高城跡など）
- 米子の小路と地蔵信仰の関連文化財群（日本遺産など）
- 鉄道の町・米子の近代化の関連文化財群（米子市役所旧館など）

ほか「弥生の国邑（青木遺跡など）」「淀江潟（向山古墳群など）」「米子城（米子城跡など）」「弓浜半島（トンドなど）」「自然（栗島神社社叢など）」

(歴史文化保存活用区域) 文化財が特に集中する2区域で重点的、優先的に取り組みを展開する。

○米子城と城下町周辺歴史文化保存活用区域(米子城跡・町家まちなみなど)

○古代淀江潟周辺歴史文化保存活用区域(妻木晩田遺跡・向山古墳群・上淀廃寺跡など)

(計画期間) 『米子市まちづくりビジョン』の計画期間(R2~11)や改定を踏まえ、8年間(R5~12)とする。また、計画期間内においても必要に応じて計画の見直しを図る。

3 計画作成スケジュール及び財源

令和5年7月の国認定を目指し、認定後8年間の事業を展開する。

○令和3年度 検討協議会設立 計画素案作成	➡	○令和4年度 計画作成 国・県との協議	➡	○令和5年度 国に認定申請 認定後、事業着手(8年間)	➡	○事業実施 計画に基づく 保存活用の推進
【財源】国補助金(10/10) (調査、会議、冊子・パンフレット等作成及び広報に係る経費)						
【事業費】(R3)1,595千円 (R4)1,049千円 (R5)631千円						

【参考】県内外の動向(令和4年7月現在)

○県内作成状況

作成済 北栄町 作成中 米子市・日野町 検討中 大山町ほか

○全国58市町で認定済み。(中国地方では益田市・津山市・松江市など)

【報告2】

令和4年度（上半期）文化財保護事業実施状況について

（令和4年8月5日現在）

1 有形文化財関係

- （1）重要文化財石馬収蔵庫の斜面横の樹木伐採と法面工事設計を実施中
- （2）高田家住宅（県保護文化財）の屋根修理事業（養蚕場の外壁）を実施中
- （3）桃形兜（市指定有形文化財）の修理を実施中

2 無形文化財関係

- （1）弓浜緋
保存会が保護事業（資料収集、用具等の修繕）に着手予定
- （2）淀江傘製造技術
4月に淀江傘伝承の会から独立をした職人の工房の整備等を実施

3 民俗文化財関係

- （1）日吉神社神幸神事（ヨイトマカセ）
5月3日開催予定であった神事を新型コロナウイルス感染防止のため中止。
- （2）米子盆踊
8月14日開催予定であった第54回大会を同じく中止した。
- （3）弓浜半島及び近隣地域のトンド
米子市トンド保存会に14地区15集落が加入。うち2集落のトンド用具等の修繕を実施中

4 名勝・天然記念物関係

- （1）オオサンショウウオ（国特天記）
5月28日に今津の海岸にて1匹の死体を確認。棄損届提出後に県博へ引き渡し。骨格標本などに活用予定。

5 史跡・埋蔵文化財関係

- （1）国史跡青木遺跡（5号地）と国史跡福市遺跡の法面保護工事設計を実施中
- （2）市内遺跡発掘調査（2件終了）
- （3）陰田1号粉の石材亀裂を変位計測中
- （4）上淀廃寺跡のパーゴラ、淀台場の手すり破損を確認
- （5）お台場公園（淀江台場）のトイレ修繕を実施

6 米子城跡関係

- (1) 三の丸広場設計、三の丸トイレ設計を実施中
- (2) 米子城跡（天守・四重櫓）のライトアップ（8月5日～8月23日）

7 尾高城跡関係

- (1) 本丸と二の丸の発掘調査を実施中

8 その他

(1) 山陰歴史館事業

- ①企画展「新収蔵品にみる米子の歴史」4月24日～6月12日
- ②「最強の城米子城」展示イベント4月30日～5月8日（会場：イオンモール日吉津）
- ③共催展「第15回池田家墓所写真コンクール作品展示」6月18日～7月10日
- ④館蔵品展「平和のために学ぶ～日中戦争から太平洋戦争まで～」7月23日～9月19日
- ⑤共催展「山陰線開業120年の歴史」7月31日～8月28日（会場：米子市美術館）

(2) 埋蔵文化財センター事業

- ①史跡ガイドウォーク「尾高城跡」5月22日
- ②出前講座「米子城ガイド」6月3日
- ③出前講座「古代学習」6月30日

(3) 福市考古資料館事業

- ①企画展「土器の文様」6月1日～27日

(4) 上淀白鳳の丘展示館事業

- ①巡回展「淀江傘200年～受け継がれた技～」4月24日～6月27日
- ②「彼岸花の球根の植栽イベントin 上淀廃寺跡」6月4日
- ③企画展「遺跡で見つかるどうぶつたち」6月1日～27日
- ④企画展「百塚88号墳の発掘調査」6月30日～8月22日

【報告3】

令和4年度（下半期）文化財保護事業実施計画について

1 有形文化財関係

- (1) 高田家住宅自動火災報知機設置工事

2 無形文化財関係

- (1) 弓浜絃 講習会及び展示会を実施予定

3 民俗文化財関係

- (2) 米子市トンド保存会加入の中和田トンドと下和田トンドのトンド用具等の修繕を実施

4 史跡・埋蔵文化財関係

- (1) 開発に伴う市内遺跡試掘調査を予定
- (2) 10月20・21日に米子市にて、第46回全国遺跡環境整備会議を開催
- (3) 史跡等の案内板設置を予定

5 米子城跡関係

- (1) 園路工事、サイン設置、石垣カルテ作成、石垣修繕設計、危険木伐採を実施
- (2) 10月にダイヤモンド大山観望会実施予定

6 尾高城跡関係

- (1) 発掘調査報告書を刊行予定

7 その他

(1) 山陰歴史館事業

- ①「郷土の歴史教室」8月6日～10月1日
- ②企画展「米子郵便取扱所開設150周年記念—米子の郵便・通信の歴史」10月2日～12月4日
- ③企画展「鳥取の絃展（仮称）」12月18日～令和5年2月5日
- ④館蔵品展 令和5年2月19日～3月21日

(2) 埋蔵文化財センター事業

- ①考古学教室1「和鏡の拓本を採ろう」8月6日
- ②考古学教室2「古銭の拓本を採ろう」8月7日
- ③史跡ガイドウォーク2「手間要害」9月25日
- ④史跡ガイドウォーク3「月山富田城跡」11月27日
- ⑤考古学講演会1「鳥取県の中世城館跡」9月10日

⑥考古学講演会2「西伯耆出土の中世陶磁器について」10月15日

⑦考古学講演会3「西伯耆の中世城跡について」11月19日

(3) 福市考古資料館事業

①企画展「発掘された土の城—西伯耆の中世城館跡—」9月7日～11月28日

(4) 上淀白鳳の丘展示館事業

①「上淀廃寺彼岸花ウィーク」9月20日～26日

②「学ぶ！知る！歩く！！歴史ウォーク」年2回

③「彼岸花の里俳句・フォトコンテスト作品展」12月～令和5年3月

④「淀江の四季フォトコンテスト作品展」令和5年3月